

# 平成 30 年度 市民ワークショップ

## 結果報告書

さいたま市の将来について、みんなで話し合ってみませんか！



## <目次>

市民ワークショップ開催目的と日程	1
子育て世代ワークショップ	
第1回ワークショップ	3
第2回ワークショップ	12
第3回ワークショップ	25
10年以上居住者ワークショップ	38

## 市民ワークショップ開催目的と日程

### ① 市民ワークショップ開催目的

- さいたま市では、「総合振興計画」に基づき、各分野の施策を推進しているところですが、現行の総合振興計画が2020年度末に計画期間が満了することから、次期総合振興計画の策定に向けて、検討作業を進めています。
- 計画の策定にあたり、市民の方にお住まいの区やさいたま市について、日頃感じていることや考えていることなどを率直に話し合っただき、新たな総合振興計画にご意見を反映するため、ワークショップを開催しました。
- なお、ワークショップは「子育て世代」と「10年以上居住者」を対象とした2種類開催しました。「子育て世代」参加者は市内在住の18歳から45歳までの方で、第1回から第3回まで同じ方々が参加しています。また「10年以上居住者」は、さいたま市に10年以上お住まいの18歳以上の方を対象としています。

### ② 参加者の募集方法

2種類のワークショップにおいて対象となる市民の方を無作為抽出し案内を送付後、応募のあった方から抽選で100名ずつを選ばせていただきました。

### ③ ワークショップの日程

(子育て世代)

回数	開催日	開催時間	開催場所	検討テーマ等	参加者数
第1回	8月18日(土)	13:00 ~16:45	浦和コミュニティセンター	ともに考える各分野の未来	66人
第2回	9月9日(日)	9:30 ~11:45	浦和コミュニティセンター	「ともにつくる2都心4副都心」と「区のあるべき姿」	66人
第3回	10月14日(日)	9:30 ~11:45	浦和コミュニティセンター	未来に向けて重点的に取り組むべきこと	48人

(10年以上居住者)

開催日	開催時間	開催場所	検討テーマ等	参加者数
9月15日(土)	9:30 ~16:45	浦和コミュニティーセンター	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2都心4副都心について</li><li>・ 今後重点的(優先的)に取り組むべきこと</li></ul>	70人

## 【子育て世代ワークショップ】

### 第 1 回ワークショップ（ともに考える各分野の未来）

#### ① プログラム

時間進行	当日のメニュー
13:00~13:20	開会、オリエンテーション
13:20~15:55	グループワーク ・ 分野の伸ばすべきところや改善すべきところ ・ さいたま市の 10 年後に向けて重点的に取り組むべきこと、またその中で市民自身が取り組めること
15:55~16:45	発表、閉会

#### ② ワークショップのグループ分け

分野別ワークショップでは、現行の総合振興計画の計画構成に基づき、以下の様な分野ごとにグループ分けを行い話し合いを行いました。

分野	主な内容
環境・アメニティ	環境保全、廃棄物対策、自然環境、都市景観など
健康・福祉	健康、子育て支援、高齢者福祉、障害者福祉、食品衛生など
教育・文化・スポーツ	学校教育、生涯学習、スポーツ、文化振興など
都市基盤・交通	市街地整備、交通体系、高度情報化など
産業・経済	地場産業、商業、観光、農業、新産業育成、雇用・就労など
安全・生活基盤	防災、防犯、交通安全、住環境など
交流・コミュニティ	男女共同参画、地域コミュニティ、多文化共生など



### ③ グループワークの結果

#### 《環境・アメニティ》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光、太陽熱の利用が盛ん</li> <li>産業部門の温室効果ガス排出量が少ない</li> <li>1人当たりのごみ排出量、最終処分比率が少ない</li> <li>ごみのリサイクル率が高い</li> <li>都市と自然の融合</li> <li>公共交通機関が充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生部門の温室効果ガスの排出量が多い</li> <li>節電や省エネに対する意識が低い</li> <li>市が行っているリサイクル事業の効果が見えない</li> <li>ごみの削減意識が低い</li> </ul>
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理のさいたま市の課題と対策、効果を知ってもらう</li> <li>ごみ削減のPR強化</li> </ul>	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題への意識を高める</li> <li>地域活動に参加する</li> </ul>	

#### 《健康・福祉①》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所が増加傾向</li> <li>医療費控除の仕組みがある</li> <li>高齢者が運動する催しやスペースが確保されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども短時間預かり制度がない</li> <li>子どもが遊べる公園が少ない</li> <li>地域コミュニティが少ない又は使いづらい</li> <li>高齢者へのサポートが少ない</li> <li>障害者家族、介護者に対する支援者が少ない</li> </ul>
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て環境（預かり体制や公園等）の整備や補助金の検討</li> <li>高齢者の活躍する場の提供</li> </ul>	
私たち市民が取り組むこと	

- 自分の出来ることでイベントを行う。
- 新しく始める事に情報提供や協力を行う。(自らワークショップの講師を務める等)
- 高齢者の話し相手になる

《健康・福祉②》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育園が多い</li> <li>• 学童保育の受け入れ数が増加</li> <li>• 医療費が中3まで無料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 待機児童数が多い</li> <li>• 保育士不足、学童保育不足</li> <li>• 地域のつながりが薄い</li> <li>• 一人暮らし高齢者が多い</li> <li>• 若者の健康意識の低さ</li> </ul>
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育士待遇改善</li> <li>• 企業内保育との連携</li> <li>• 多様な人間を受け入れる</li> <li>• 高齢者の社会貢献意欲の確保</li> <li>• 健康に対する自己肯定感を強める機会の設定</li> </ul>	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育への積極的な参加</li> <li>• 公的な情報を活用して暮らしやすくする</li> <li>• 障害者スポーツを体験する</li> <li>• 地域との交流を深める</li> <li>• 相談相手になる</li> </ul>	

《教育・文化・スポーツ①》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学力が高い</li> <li>• ICT環境が充実</li> <li>• 図書館・公民館が多い</li> <li>• 市民のスポーツ実施率が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1クラスの生徒数の多さ</li> <li>• 教員がITを使いこなせていない</li> <li>• 特別支援学校設置率が低い</li> <li>• 生涯学習に取り組む市民が少ない</li> <li>• 公民館の利用層が偏っている</li> </ul>



<ul style="list-style-type: none"> <li>文化的なまち、芸術のまち、をイメージする割合が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>40歳代のスポーツ実施率が低い</li> <li>文化や芸術が市民に浸透していない</li> </ul>
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の研修</li> <li>1学級当たり生徒数の制限</li> <li>特別支援教育の環境整備</li> <li>生涯学習を通じた世代間交流</li> <li>目的に応じた生涯学習施設の住み分け</li> <li>気軽に行けるスポーツ施設の設置</li> <li>親子を巻き込んだ交流イベントの開催</li> </ul>	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学生ボランティアと連携する</li> <li>学習支援を行う</li> <li>自ら情報をキャッチしに行く</li> <li>スポーツイベントに参加する</li> </ul>	

《教育・文化・スポーツ②》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツが盛ん</li> <li>芸術活動への参加意欲が向上している</li> <li>公共施設が充実</li> <li>子どもから高齢者まで学習意欲が高い</li> <li>教育水準が高い</li> <li>デジタル化など教育環境が充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気軽にスポーツできる環境がない</li> <li>外国人、マスコミへのアピール不足</li> <li>芸術家と市民のふれあい</li> <li>生涯学習への意識が低い</li> <li>図書館利用率が低い</li> <li>知識偏重で閉ざされた教育になっている</li> </ul>
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>プロスポーツチームとの連携</li> <li>気軽にスポーツできる環境づくり</li> <li>情報発信の充実</li> <li>講座情報等の市民への周知</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>• キャリア教育の充実</li> <li>• 地域と触れ合う機会を増やす</li> </ul>
<p>私たち市民が取り組むこと</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• SNS で情報を発信</li> <li>• 参加して得た知識、スキルを示していく</li> <li>• 地域イベントへ積極的に参加する</li> </ul>

《都市基盤・交通①》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 駅前が整備されている</li> <li>• バリアフリー化が進んでいる</li> <li>• 市内に都心が2つあってにぎやか</li> <li>• 街中に緑と開放的な空間がある</li> <li>• 自転車ネットワーク路線が延長している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生活道路の整備の遅れ</li> <li>• 危ない交差点や道路が多い</li> <li>• 高齢者、障害者、外国人への対応</li> <li>• 自転車移動が快適と感じる市民が少ない</li> <li>• 自転車マナーが悪い</li> <li>• 車がないと市内移動が不便</li> </ul>
<p>今後重点的に取り組むこと</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 危ない道路、交差点、細く交通量の多い道路等の把握・改善</li> <li>• 緑豊かな開発</li> <li>• コミュニティバスの運用改善</li> <li>• コミュニティサイクルの範囲拡大</li> <li>• 交通マナーの周知・監視</li> </ul>	
<p>私たち市民が取り組むこと</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• シェアサイクルを使ってFBで発信</li> <li>• 近場であれば徒歩や自転車を利用する</li> <li>• 自転車マナーを守る</li> </ul>	

《都市基盤・交通②》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通の利便性が良い</li> <li>• 自転車レーンが整備されている</li> <li>• 駅が使いやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路が狭い</li> <li>• 自転車マナーが悪い</li> <li>• バス本数・路線が少ない</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>公園が多い</li> <li>住みたいまち上位にランク</li> <li>スポーツ施設やスポーツチームの存在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西のつながりが弱い</li> <li>情報発信が出来ていない</li> <li>市の一体感がない</li> </ul>
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車ルール教育</li> <li>バスの利便性向上</li> <li>道路の拡幅</li> <li>市としてのブランディング強化</li> </ul>	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通ルールマナー講習会の実施</li> <li>まちづくりに積極的に参加する</li> <li>自分たちの街に関心を持つ</li> </ul>	

#### 《産業・経済》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>経営が安定している企業が増加している</li> <li>広大な土地とポテンシャル</li> <li>農地が近く野菜を近所で買える</li> <li>商業施設が多い</li> <li>産業が発展している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の魅力をアピール出来ていない</li> <li>事業所、従業員が減少している</li> <li>農家数が減少</li> <li>市内での消費が減少</li> <li>地域産業と言われて分かりやすいものがない</li> <li>商店街よりも大型ショッピングモールで買物が多い</li> </ul>
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>広告媒体を活用する</li> <li>市内産のものに出会う機会を積極的に作る</li> <li>特産物を作る</li> <li>さいたま市のブランディング</li> <li>地元商店街を活性化させる仕組みづくり</li> </ul>	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを通じた発信を行う</li> </ul>	

- さいたま市の具体的な良いところを伝えていく
- 市の取組みに興味を持つ

### 《安全・生活基盤》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 避難所の耐震化率が高い</li> <li>• 避難訓練の参加者数が増加</li> <li>• 住宅の耐震化率が上昇している</li> <li>• 自転車専用道路の増加</li> <li>• 交通事故の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治会に加入していない市民の防災訓練機会が少ない</li> <li>• 築30年以上の住宅の耐震化率が低い</li> <li>• 家庭単位での防災意識の低下</li> <li>• 自転車運転ルールが守られていない</li> <li>• 道路が狭い</li> </ul>
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 避難所を中心とした地区単位での防災訓練</li> <li>• 高齢者や体の不自由な方を中心に考えた避難訓練</li> <li>• 市民への情報伝達の導線強化</li> <li>• 交通マナールールの見直し</li> <li>• 自転車が多いエリアの注意喚起</li> <li>• 道路整備の検討</li> </ul>	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災関係のイベントへの参加</li> <li>• 近所の方と確認しあう</li> <li>• 家族と震災時の帰宅方法の確認</li> <li>• 自治会のネットワーク作り</li> <li>• 家の備蓄確認</li> </ul>	

### 《交流・コミュニティ》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市民の人権意識が高い</li> <li>• 住宅の耐震化率が上昇している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• さいたま市だから、という特徴が見えない</li> <li>• 平和宣言都市の認知率が低い</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもが障害者、健常者分け隔てなく遊べる場所がある</li> <li>• 活発に交流する人が増えている</li> <li>• 訪れる外国人が多い</li> <li>• 異文化理解が微増している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市の計画自体を知らない</li> <li>• 地域活動に参加する市民の割合が低下</li> <li>• 地域活動の内容が見えない</li> </ul>
<p>今後重点的に取り組むこと</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高齢者や障害者、外国人も参加できるイベントの開催</li> <li>• さいたま希望のまちプランを知ってもらう</li> <li>• 地域活動を分かりやすく伝える</li> <li>• Wifi 等のインフラ整備</li> <li>• 区民まつり等での外国の紹介</li> </ul>	
<p>私たち市民が取り組むこと</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• SNS で発信する</li> <li>• イベントに参加する</li> <li>• 近所づきあいから始める</li> <li>• さいたま市や区に対する理解を行う</li> </ul>	

**【子育て世代ワークショップ】**  
**第2回ワークショップ（「ともにつくる2都心4副都心」と「区のあるべき姿」）**

① プログラム

時間進行	当日の流れ
9：30～9：40	開会、オリエンテーション
9：40～11：40	ワークショップ (1) ともにつくる2都心4副都心 ・ 2都心4副都心それぞれの強みや弱み ・ その強みや弱みから、各拠点のまちづくりにおいて重視すべきテーマ・取組 (2) 区のあるべき姿 ・ お住まいの区について、これから力を入れていくべきこと
11：40～11：45	発表、閉会

② ワークショップのグループ分け

第2回ワークショップでは、お住まいに近い2都心4副都心地域、及び区ごとに分かれ話し合いを行いました。

なお、2都心4副都心とは、「大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区」、「浦和駅周辺地区」の2つの都心地区と「日進・宮原地区」、「武蔵浦和地区」、「美園地区」「岩槻駅周辺地区」の4つの副都心地区のことを表します。



③ グループワークの結果（2 都心 4 副都心別）

《日進・宮原地区①》

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食店が多い</li> <li>・ ステラタウン等の商業施設</li> <li>・ 子どもたちが遊べるところが多い</li> <li>・ 商店街がある</li> <li>・ 4 路線使える</li> <li>・ 子育てしやすい</li> <li>・ 広めの公園が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昼間は人が少ない</li> <li>・ 繁栄しているところとそうでないところの落差</li> <li>・ 観光の目玉がない</li> <li>・ 副都心のイメージがない</li> <li>・ 公共交通が少ない</li> <li>・ 道が狭い</li> <li>・ 商店街の活気</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅間をつなぐ公共交通</li> <li>・ 暮らし No1 都市</li> <li>・ 子育てしやすい街づくり</li> </ul>	
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブランディング</li> <li>・ イベント、コミュニティの場の機会</li> <li>・ 地元住民の活用</li> <li>・ 商業施設、副都心内をつなぐ交通網</li> </ul>	
<b>キャッチフレーズ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そろそろつながろう</li> </ul>	

《日進・宮原地区②》

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通の便が良い</li> <li>・ 買い物の利便性</li> <li>・ 災害が少ない</li> <li>・ 区役所を中心に商業施設が充実</li> <li>・ 学童が充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域交流が少ない</li> <li>・ 国際、福祉に対して弱い</li> <li>・ 子どもが自由に遊べる場所が少ない</li> <li>・ 商店街に活気がない</li> <li>・ 循環バスの本数が少ない</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の森、盆栽村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車が走行しにくい</li> <li>街灯が少ない</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して子どもが自転車にのれる道路</li> <li>公共施設の充実</li> <li>地域活性化</li> <li>盆栽村にもっと地域住民が親しむ</li> </ul>	
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災意識強化</li> <li>街灯を新しくする</li> <li>公園一覧表作成（ボール、自転車 OK、トイレ有無）</li> <li>子どもたちの教育と遊びを考えた遊び場の作成</li> <li>緑と触れ合う仕組み、イベント</li> </ul>	
<b>キャッチフレーズ</b>	
人と人がつながるマルシェのような街	

《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区①》

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>物価が適度によい</li> <li>交通が便利</li> <li>東日本の交通拠点</li> <li>駅近くに自然がある</li> <li>幼いころからスポーツ、文化に触れる機会がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人商店系の小さなお店が少ない</li> <li>宿泊できる場所があまりない</li> <li>SNS での発信</li> <li>子どもが地域とかかわれる場所</li> <li>都内への子どもの流出</li> <li>防犯面</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>大型商業施設と個人商店の連携</li> <li>立ち寄れるまちづくり</li> <li>イベント広報の充実</li> <li>地域資源</li> <li>子育て</li> <li>教育</li> </ul>	



必要な取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参道沿いに名産店を出してみる</li> <li>・ 地域活性、交流</li> <li>・ 駅前を広くする</li> <li>・ アンテナショップ化（地域と大宮のかけ合わせ）</li> <li>・ 発信（SNS）</li> <li>・ ブランディング</li> <li>・ 公共施設をもっと開放する</li> <li>・ 公園を利用した体験や交流</li> <li>・ 空き家活用</li> </ul>
キャッチフレーズ
いらっしゃい！ 降りても住んでもいいところ

《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区②》

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通利便性が高い</li> <li>・ 商業施設が集まっている</li> <li>・ イベントができる施設がある</li> <li>・ 氷川神社及び周辺の緑</li> <li>・ 見沼田圃がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 滞在がしづらい（宿泊施設がない）</li> <li>・ 街が汚い（ゴミがある）</li> <li>・ イベント施設がある割に人が集まらない</li> <li>・ 交通渋滞</li> <li>・ 治安が悪い</li> </ul>
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市街地の整備</li> <li>・ 大宮駅 GCS 化構想の実現</li> <li>・ 人が歩きやすいまち</li> <li>・ 集客力の高い施設の活用</li> <li>・ スポーツ、歴史、文化をいかして「健康」を重視</li> <li>・ 災害発生時の防災対策</li> <li>・ 観光客へのサポート</li> </ul>	
必要な取組み	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミひろい</li> <li>・ 駅周辺の整備及び再開発</li> <li>・ 回遊できる交通網の整備</li> <li>・ 宿泊施設の誘致</li> <li>・ さいたま市のいろいろな良いところのアピール</li> <li>・ 農業体験</li> <li>・ 見沼田圃の食材を使ったイベント</li> <li>・ 観光客へのサポート</li> </ul>
<b>キャッチフレーズ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰もが安心して楽しめる健康地区</li> <li>・ 自然豊かな見沼田圃を有効活用し、人にやさしくみんなが集える街</li> <li>・ 人が歩きやすく緑にふれあえるまち</li> <li>・ 人が歩きやすく自然にふれあえるまちを目指す</li> <li>・ 人が歩きやすく生き生きとしているまち</li> </ul>

《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区③》

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商業施設が多い</li> <li>・ 知名度が高い</li> <li>・ 公園、児童センターが充実</li> <li>・ 道路が広く自転車レーンが整備されていて安心</li> <li>・ 安全で穏やかなまち</li> <li>・ 文教地区のイメージ</li> <li>・ 鉄道博物館、盆栽等の地域資源</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大宮駅周辺の治安</li> <li>・ 学童に入れにくい</li> <li>・ オフィスが少ない</li> <li>・ 地元産業、名物のアピールが弱い</li> <li>・ これといった特徴が見当たらない</li> <li>・ 大宮エリアと新都心エリアとの一体感が薄い</li> <li>・ 大きな病院が少ない</li> <li>・ 災害対応が不透明</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉（子育て、お年寄り）</li> <li>・ 駅整備</li> <li>・ 北関東の文化情報発信基地</li> <li>・ ならでは、の文化</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>人が集まるバランスの良い魅力的なまち</li> </ul>
必要な取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のイベント（国際マラソン、ツールド）を育てる</li> <li>〇〇の聖地、となるような発信基地</li> <li>既存施設（ブリランテ等）の活用</li> <li>区の宣伝力</li> <li>広報（キャラ付け、ポジティブ・ネガティブを面白くアピール）</li> </ul>
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>シンプルに住みやすい都市</li> <li>「北関東の情報発信基地」大宮・さいたま新都心</li> <li>ちょうどよい</li> <li>オタクの聖地中央区</li> </ul>

《浦和駅周辺地区①》

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設</li> <li>治安の良さ</li> <li>交通利便性の高さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学童の不足</li> <li>企業の拠点が少ない</li> <li>観光の要素が少ない</li> </ul>
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>住みやすいまちづくり</li> <li>ブランディング</li> </ul>	
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報のアンテナを高める</li> <li>地域活動に参加する</li> <li>若者だけのイベント</li> </ul>	
キャッチフレーズ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが便利で楽しく落ち着いて住み続けられる地区 “何もない”とは言わせない！</li> </ul>	

《浦和駅周辺地区②》

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高い交通の利便性</li> <li>• 風情のある飲食店の立地</li> <li>• 良好な治安</li> <li>• 充実した教育環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 若者にとって魅力的な場所が少ない</li> <li>• 区役所・省庁へのアクセスが不便</li> <li>• 住みやすさ以外のアピール点がない</li> </ul>
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住みやすさ</li> <li>• 交通利便性の向上</li> <li>• 教育</li> <li>• にぎわい</li> <li>• 特徴をつくる</li> </ul>	
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自転車やバスなどの交通手段の整備</li> <li>• 県庁区役所案内の強化</li> <li>• 教育についてアピール</li> </ul>	
キャッチフレーズ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住んだらやみつきになる街</li> </ul>	

《武蔵浦和地区》

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通利便性が高い</li> <li>• 子育て環境</li> <li>• 居住環境が良好</li> <li>• 駅前施設が充実している</li> <li>• 木や花の手入れをちゃんとしている</li> <li>• 新しい街並み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通利便性の高さを活かせていない</li> <li>• 道路整備が必要な箇所が多い</li> <li>• 土日の行き先が他のエリアになってしまう</li> <li>• 商業施設が少ない内外への情報発信量が少ない</li> <li>• 外国人向けの案内を紙ではなく、ウェブにするべき</li> </ul>

重視すべきテーマ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日々の暮らしやすさ</li> <li>• 生活環境の充実（子育て、住宅地の住み心地、都市景観）</li> <li>• 地区の均衡発展</li> <li>• 商業地と住宅地の親和性の上昇</li> </ul>
必要な取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 駅前以外の生活空間の充実</li> <li>• 公園、学校、保育園等の整備</li> <li>• 他の地区との連携を強化</li> <li>• 情報発信</li> </ul>
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世代をこえて住み心地がよい地区</li> </ul>

《美園地区》

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• さいたまスタジアムというランドマークがある</li> <li>• 都心へのアクセスがいい</li> <li>• 道が広く、歩道が多い。全体的にゆったりしている</li> <li>• 子育て世代が多い（若年層が多い）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スタジアムの稼働率が低い</li> <li>• 駅前の活用が不十分</li> <li>• 駅前の利便性が低い</li> <li>• 個性がない</li> <li>• 区としての統一感がない</li> </ul>
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• スポーツ・健康</li> <li>• 生活</li> </ul>	
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生活環境の充実</li> <li>• 公共施設の充実</li> </ul>	
キャッチフレーズ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「住む人」「来る人」が健康になるまち美園</li> <li>• ワークライフバランスが実現するまち美園</li> </ul>	

- 子育てに優しい、スポーツと健康のまち
- 通勤も便利！子育てもしやすい！！発展と成長の町
- 知名度はないけど伸びしろはある！子育ての町美園
- さいたま市で一番新しい町
- 都会の隣で健康で暮らしやすく潤いのある街浦和美園
- ポテンシャル、伸びしろのある街
- 発展途上都市
- 都会と自然を繋ぐまち ～さいたまの未来都市～

《岩槻駅周辺地区》

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人形という観光資源</li> <li>• 緑が豊富</li> <li>• 駅のバリアフリーが整備されている</li> <li>• 公共交通機関が充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人形などの観光アピールが上手くない</li> <li>• 観光地というイメージがない</li> <li>• 街灯が少なく、街道が暗い</li> <li>• 交通の利便性が低い（バス・タクシーが少ない）</li> <li>• 活気がない</li> </ul>
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光立国いわつき</li> <li>• 交通強化</li> <li>• 子育て</li> <li>• にぎわいのあるまちづくり</li> <li>• 生活環境</li> </ul>	
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光 PR の強化</li> <li>• 駅周辺の充実（商業施設、イベント、グルメ）</li> <li>• 川沿いの雑草を定期的に除草</li> <li>• 子育て支援</li> </ul>	
キャッチフレーズ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人形も人も住みやすいさいたまの田舎いわつき</li> </ul>	

#### ④ グループワークの結果（区別）

##### 《西区》

今後のまちづくりのポイント
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高齢者の健康づくり</li><li>・ 店舗誘致</li><li>・ 農産物のブランド化</li><li>・ 道の駅の設置</li><li>・ 公園の活用</li><li>・ 文化資源の継承</li><li>・ 災害時の交通ルート</li><li>・ 街灯の整備</li></ul>

##### 《北区》

今後のまちづくりのポイント
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 防災意識強化</li><li>・ 駅商店街など活気のある場の創出</li><li>・ 区産区消</li><li>・ 盆栽村、資産、歴史の価値認識</li></ul>

##### 《大宮区》

今後のまちづくりのポイント
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報発信</li><li>・ ブランドカ</li></ul>

##### 《見沼区》

今後のまちづくりのポイント
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 見沼田圃周辺の交通網整備</li><li>・ 見沼田圃を使ったイベントを増やす</li><li>・ スポーツ施設を使った高齢者の健康維持の取組み</li></ul>

- 見沼区の取り組みのPRをもっと活発に
- 昔から住んでいる人と新しく住み始めた人との交流

#### 《中央区》

##### 今後のまちづくりのポイント

- 駅の沿線環境整備
- 本町通り整備、活用
- ガード下の有効活用
- 治安が良く住みやすい
- 将来的に住んでもらえるような街づくり
- アート地区
- イベントPR

#### 《桜区》

##### 今後のまちづくりのポイント

- 教育
- 子育てしやすいまち
- 活気・賑わいの創出
- 広い土地の有効活用
- 人の集まる場所の整備
- 公園・広場の整備
- イベントの充実
- 交通の便
- 防災

#### 《浦和区》

##### 今後のまちづくりのポイント

- 教育
- 子育てしやすいまち
- 活気・賑わいの創出



- 広い土地の有効活用
- 人の集まる場所の整備
- 公園・広場の整備
- イベントの充実
- 交通の便
- 防災

#### 《南区》

##### 今後のまちづくりのポイント

- 交通利便性のあるまち
- 特徴のあるまち
- 災害に強いまち
- 情報発信力のあるまち
- 福祉の充実したまち
- 公共施設の充実まち
- 公共サービスの充実したまち
- 自然や歴史のあるまち
- 子育てのしやすいまち

#### 《緑区》

##### 今後のまちづくりのポイント

- 外国人の方も住みやすいまちにする
- バリアフリーの町
- 混合交通に対応した道路整備
- 公園の整備
- 大規模なイベントの開催
- 緑と健康の一体イベントの開催

《岩槻区》

今後のまちづくりのポイント

- 岩槻の歴史を学ぶ勉強会
- 屋号の看板、昔の地名
- 小さな道の駅（空き地の活用）
- 区主催の同窓会
- ダイナミックなラッピングバス（人形などをモチーフに）
- コミュニティバスの充実
- ランニング、ウォーキングコースの充実
- ハザードマップの回覧板での交付
- 子育て支援政策

## 【子育て世代ワークショップ】

### 第3回ワークショップ（未来に向けて重点的に取り組むべきこと）

#### ① プログラム

時間進行	当日の流れ
9:30~9:40	開会、オリエンテーション
9:40~11:40	ワークショップ ・ さいたま市の魅力と課題 ・ さいたま市が今後10年で優先的に取り組むべきこと
11:40~11:45	発表、閉会



## ② グループワークの結果

### 《グループ1》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大宮駅の交通の便</li> <li>• 交通の便が非常に良い（新幹線も停車）</li> <li>• 駅前の整備が進んでおり、バリアフリー化もしている</li> <li>• 公園や病院が多い</li> <li>• 中学3年まで医療費が無料</li> <li>• 小中学校の学舎の耐震化が進展している</li> <li>• 観光客が少なく、日常的に安定している</li> <li>• 住みやすい</li> <li>• 災害に強い気がする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地活用できていない所がある</li> <li>• 道路整備が進んでおらず、交通事故も多い</li> <li>• 都市公園、スポーツ施設が少ない</li> <li>• 大学、企業の立地数が少ない</li> <li>• スーパーマーケットの数が少なくなっている</li> <li>• 商業施設が集中した場所にしかない</li> <li>• 観光場所が栄えていない</li> <li>• 「さいたま市民」という意識があまりない</li> <li>• 地域のつながりが希薄</li> </ul>
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電車とバスと歩行者のECOな取組</li> <li>• 土地活用</li> <li>• 道路整備（車等）</li> <li>• 歩道を拡張や自転車レーンの創設</li> <li>• 公園の遊具を増やす</li> <li>• 自然との共生（荒川・見沼田んぼでそれに関するイベントを開催する）</li> <li>• 企業誘致（さいたまに働きに来てもらう）</li> <li>• 観光地周辺の活気を出す</li> <li>• 地域間の距離が縮まる情報発信（LINEなどを利用）</li> <li>• 自然を活かす取組を増やす（見沼田んぼとか）</li> <li>• アプリなどでさいたま市の取組を発信する</li> <li>• 住みやすさをさらに住みやすく</li> </ul>	

《グループ2》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• イベントが多い</li> <li>• 住みやすさを市民が実感できている</li> <li>• 夢を持った若者が多い</li> <li>• 特定のスポーツが盛んで、そのことに対して市民が誇りを持っている</li> <li>• 教育水準が高い</li> <li>• 子どもを育てる環境が整っている</li> <li>• 交通機関の選択肢が多い</li> <li>• 水道インフラが強い</li> <li>• 大きな自然災害が少ない</li> <li>• 病院が多い</li> <li>• 公園など緑が適度にある</li> <li>• 関東平野と大宮台地</li> <li>• 完璧な行政</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域・学校・自治体のつながりが希薄</li> <li>• 地元企業との連携</li> <li>• 地域商店街と住民の距離</li> <li>• 公共施設（図書館・スポーツ）が少ない</li> <li>• バスの利便性が低い</li> <li>• 観光スポットはあるが、アピール不足のために認知度が低い</li> <li>• ごみの排出量が他地域よりも多いため、エコに対する意識が低い</li> <li>• 入込観光客数が他都市と比較して少ない</li> <li>• 道路交通（東西）が弱い</li> <li>• 10区を活かせていない</li> <li>• 経済都市としての理解</li> <li>• 埼玉・都民への政策がない</li> <li>• 街に理念がない</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地元帰り出来る場づくり</li> <li>• 観光・日本遺産まちづくり</li> <li>• 教育へのコンセプト（英語）</li> <li>• 公共交通を実態に合ったものにする</li> <li>• ブランディングコンセプトづくり</li> <li>• 市民向け・市民を見たメディアづくり</li> <li>• 情報発信（目的・対象を明確にした物）</li> <li>• 情報発信の仕組みづくり（情報インフラと併せて）</li> <li>• 行事開催の目的（市民・区民への訴求、発信力）</li> <li>• 一方的でない、コミュニケーション手段の確立</li> </ul>	

- 情報発信のやり方
- 関わってもらえるまちづくり
- 10区体制の見直し
- 教員の教育（チャレンジできるように）

《グループ3》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育てをしやすい（医療費免除等がある・使える）</li> <li>• 大きい病院がある</li> <li>• 街がきれい（ごみのポイ捨てが少ない）</li> <li>• 町全体で地元のサッカーチームを応援している</li> <li>• 文化教育がしっかりしている（図書館等が利用しやすい）</li> <li>• 図書館が多い</li> <li>• 教育に力を入れている市民が多い</li> <li>• 交通利便性の高さ</li> <li>• 都心へのアクセスがしやすい</li> <li>• 治安が良い</li> <li>• 南北の交通インフラが整っている</li> <li>• 歩道＋街路樹がある</li> <li>• 住みやすい街</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高齢化対策</li> <li>• 小さい病院が少なくなっている</li> <li>• 市の催しに対する情報発信量が少ない</li> <li>• 地域ごとや年齢間のコミュニティが希薄</li> <li>• 図書館の自由スペースが小さい</li> <li>• 海外の住民との付き合い方</li> <li>• 町の景観の改善</li> <li>• 東西への交通が不便なところがある</li> <li>• 公園が少ない</li> <li>• 人口の増加に伴う交通インフラの混雑への対応</li> <li>• 水害対策</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業内保育園の活用</li> <li>• 大型マンションに保育園を併設</li> <li>• 簡易介護・放課後児童クラブ施設の増設（デイサービス、時間での簡易の子ども預かり所等）</li> <li>• 市からの情報を市民が受け取りやすくする取組</li> <li>• 外国人・高齢者に対する取組</li> </ul>	

- 各コミュニティ間の交流。情報の共有、教育
- 生活満足度のさらなる向上
- 各区の取組の充実と他の区への発信・共有
- イメージ改革
- PR 活動（住み心地）
- 交通インフラの整備（バス等の増便）
- 少子高齢化対策
- 治安の維持

《グループ4》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通利便性が高い</li> <li>• 豊かな自然と充実した市街地とのバランス</li> <li>• 都会でも田舎でもない</li> <li>• 災害に強い</li> <li>• 浸水しにくい地域（エリア）が多い</li> <li>• 医療費が15歳まで無料</li> <li>• 住み心地が良い</li> <li>• 市民が住みやすさを感じている</li> <li>• 学校教育が充実している</li> <li>• 学力水準が高い（市外からも集まってきている）</li> <li>• 図書館の数が多い</li> <li>• スポーツクラブとの交流</li> <li>• リサイクルやゴミに関してはすごい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 西浦和の魅力が乏しい</li> <li>• 道路が狭く、危険</li> <li>• 福祉施設に不満を感じている人がいる</li> <li>• 居住地域の文化財など知らないものが多い</li> <li>• 観光客数（2～3千人）が来訪しているというイメージが薄い</li> <li>• 学童の不足</li> <li>• 遊べる場所が少ない</li> <li>• 自然はあるが綺麗なイメージはない</li> <li>• 地域のつながりが薄くなってきた</li> <li>• イベントの認知度の低さ</li> <li>• 地盤産業の活性と創出</li> <li>• 教育者の確保と育成</li> <li>• 地域交流を図れる場所の提供</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地味な駅を豊かにする</li> <li>• 生活・交通インフラの整備</li> </ul>	

- 中央線の無い道路は一方通行にする
- 外国人も過ごしやすい街づくり
- ブランディングと情報発信
- 市民への魅力の発信（発信方法のさらなる工夫）
- 「住みやすさ」を具体化し PR する
- さいたま市の名物的なスポットを作る
- 弱い既存のものを活かす（北区の盆栽など）
- 一区一点テーマを絞って PR
- 教員の育成・研修
- 教育・福祉・地域交流の受け皿を作っていく
- 若い世代への投資
- 将来への不安解消
- 福祉をもっと身近に
- 高齢者・障害者福祉の充実

### 《グループ5》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住みやすい</li> <li>• 子育てしやすい</li> <li>• 教育意識の高さ</li> <li>• 都市と田舎のバランスがいい</li> <li>• 人の多さがちょうどいい</li> <li>• スーパーアリーナ、浦和レッズ等のイベントが多い</li> <li>• 東京・東北・北陸など交通の便がよい</li> <li>• 災害が少なく、将来にわたって安心して暮らすことができる</li> <li>• 治安が良い</li> <li>• 地理的利便性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公共施設の老朽化</li> <li>• 保育問題</li> <li>• 住民に対して、保育園・学校の数が少ない</li> <li>• 緑の減少</li> <li>• 人口増加に伴う多様化に対応できるか不安</li> <li>• 地元でのアクティビティ機会、あるいはそのための場所が少ない</li> <li>• 場所によって、交通の利便性に差がある</li> <li>• 道路が狭い</li> <li>• 駅が使いにくい</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>市外に魅力が伝わっておらず、資源を活かせていない</li> </ul>
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校やイベントでの講師の活用</li> <li>地元愛を育むような教育</li> <li>保育園・幼稚園のあり方の見直し</li> <li>歩道の緑道化</li> <li>施設や緑地の整備</li> <li>公共空間を使いやすく整備する</li> <li>駅+駐輪場</li> <li>東西方向の交通整備</li> <li>観光資源の活用</li> <li>PR 活動</li> <li>ガイドマップの作成</li> </ul>	

### 《グループ6》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然豊か（見沼田んぼ）であり、公園も多い</li> <li>交通利便性の高さ</li> <li>大宮駅に様々な路線、新幹線の停車</li> <li>災害に強く、災害が少ない</li> <li>子育てのしやすさ</li> <li>昔から継続している大規模な祭り</li> <li>子育て支援が手厚い</li> <li>医療費が中3まで無料</li> <li>教育に熱心であり、学力が高い</li> <li>文教都市として、他に先んじて取組</li> <li>商業施設が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道以外の移動手段の利用率・認知度</li> <li>防災の個人意識が低い</li> <li>高齢化への対応（孤独死、介護、再雇用、ユニバーサルデザイン）</li> <li>犯罪への対応</li> <li>子育て環境の整備</li> <li>子どもが遊べる場所が少ない</li> <li>病院が少ない（主に産婦人科、耳鼻科）</li> <li>商店街の衰退、地元の商店街に活気がない</li> <li>地場産業の保護・活用</li> <li>地元住民同士のつながりの希薄化</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• ビジネスの場としての可能性</li> <li>• サッカーのまち（浦和レッズ、大宮アルディージャ、埼玉スタジアム）</li> <li>• 環境意識の高さ</li> <li>• ごみ処理能力が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 訪日外国人への対応</li> <li>• リサイクル事業が周知されていない</li> <li>• さいたま市のブランド力の不足</li> <li>• 各区を繋ぐ要素の不足</li> </ul>
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然の維持</li> <li>• 就農の推進（自然が多い場所への移住、体験プログラム）</li> <li>• 土地利用の明確化</li> <li>• 公園・広場など屋外スペースを使ったイベント・お祭り</li> <li>• コミュニティバスの増便、路線増加</li> <li>• 自転車専用道の整備</li> <li>• サイクリングコースを作る</li> <li>• 体育館やプールで運動会やレクリエーションなどのイベント</li> <li>• 保育士・学童保育士の待遇をよくする</li> <li>• キャリア教育の充実</li> <li>• 商店街の活性化</li> <li>• 地産地消の促進</li> <li>• 子どもから大人まで楽しめる施設</li> <li>• ごみ処理、リサイクル事業アピール</li> <li>• PR方法のIT化</li> <li>• 姉妹都市の共催イベント</li> <li>• 市民参加型のフォトジェニックスポット紹介等</li> <li>• 市による広告宣伝のバックアップ</li> </ul>	

《グループ7》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通利便性が高い（特に都心へのアクセス）</li> <li>• 南北の交通利便性が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通事故が多い</li> <li>• 生活道路が狭い</li> <li>• 東西・地域間の交通利便性の拡充</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 都内への通勤が楽</li> <li>• 生活基盤がしっかりしている（ゴミ処理、安全性、防災など）</li> <li>• 居住環境が整っている</li> <li>• 生活に関する満足度が向上している</li> <li>• 買い物がしやすい</li> <li>• 学校教育がしっかりしており、教育水準が高い</li> <li>• 駅の近くに自然がある（例、大宮公園）</li> <li>• 都市と自然のバランスがよい</li> <li>• 都内より自然が豊か</li> <li>• しがらみのなさ</li> <li>• 市民の満足度が高い</li> <li>• プロスポーツチームがある（サッカーチームがある）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育ての支援（保育園、公園）</li> <li>• 高齢者福祉、障害者福祉が弱い</li> <li>• 市内での消費が少ない</li> <li>• 経済が活発でない</li> <li>• 「中小企業の支援」「新たな産業の創造」といった面が弱い</li> <li>• さいたまのイメージアップが必要</li> <li>• 住んでいる人の目が都内に向いていて、地域事業に興味がないのではないか？</li> <li>• さいたま市だから、という主だった特徴がない</li> <li>• 特色が分かりにくく、住民も知らない</li> <li>• どうやって地域愛を持ってもらうか</li> <li>• 観光客が少ない</li> </ul>
---	--

必要な取組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通事故対策</li> <li>• 200万市民を目指す</li> <li>• 施設の老朽化対策</li> <li>• マイノリティの人も生きやすい環境づくり</li> <li>• 貧困家庭への支援</li> <li>• 高齢者は安心して暮らせる地域ネットワーク</li> <li>• 福祉のさらなる充実・強化</li> <li>• 子どもの成長をサポートする</li> <li>• 社会人の生涯学習の支援</li> <li>• 市内歩きタバコの全面禁止</li> <li>• 学校教育の満足度を上げる</li> <li>• 災害対策</li> <li>• 今ある施設をもっと活用する</li> <li>• さいたま市の資源を活用して事業をしようとする人の支援（企業）</li> </ul>
--

- さいたまブランドの確立
- プロスポーツの活用と連携

《グループ8》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住みやすいと思う人が多い</li> <li>• 充実した施設がある（さいたまスーパーアリーナなど）</li> <li>• 商業施設が各所にあり便利</li> <li>• 生活しやすい</li> <li>• 安全（あまり変なところがない）</li> <li>• 治安が良い</li> <li>• 教育熱心なところ（文教区）</li> <li>• 職を選びやすく、職に困らない</li> <li>• 都心へのアクセスのしやすさ</li> <li>• 交通の便がよい</li> <li>• 東京に近く、便利</li> <li>• 政令指定都市としての優遇</li> <li>• ごみの回収が細かい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• イベントが少ない</li> <li>• 区役所の内外の設備が不十分な区がある</li> <li>• 病院が少ない</li> <li>• 大宮駅周辺の開発</li> <li>• 子どもの屋内遊び場の増加</li> <li>• 終電が早い</li> <li>• バスが少ない</li> <li>• 病院向けバス網の充実</li> <li>• 高齢者の意識向上（生きがい、マナー）</li> <li>• ヨーロッパ野菜の存在を市民が知らない</li> <li>• 保育・託児所の充実（小規模ばかり増えている）</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生活環境の整備（道路、自転車レーン、ごみの集積場など）</li> <li>• 行政の取組を積極的に発信</li> <li>• 公立教育の向上、治安向上</li> <li>• 海外、県内外からの観光客を増やす</li> <li>• （さいたま市に興味・関心を持たせる）教育・福祉の充実</li> <li>• バス網の充実</li> <li>• 交通・公共交通機関の利用マナーの教育を徹底</li> <li>• 大宮駅東口付近の整備（特に南館・北館のあたり）</li> <li>• さいたま市の魅力の発信</li> <li>• 道路の整備</li> </ul>	

- 大宮周辺の開発
- さいたま市の魅力を伝えるイベントの開催

《グループ9》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 駅、駅前が整備されている</li> <li>• 交通利便性が高い</li> <li>• スーパーアリーナ、さいたまスタジアムなどスポーツ文化の発信拠点がある</li> <li>• スポーツが盛ん</li> <li>• 自然が多く、街とのバランスが良い</li> <li>• 企業本社の転入超過数が高い</li> <li>• 災害に強い</li> <li>• 幸福度ランキング2位</li> <li>• 住み心地がよいと考える市民が多い</li> <li>• 都心に近い割に住宅価格が安い</li> <li>• 医療費が中3まで無料</li> <li>• 学校教育の充実</li> <li>• 小中学生が将来の夢を持っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大宮駅周辺の開発</li> <li>• 歩道の整備</li> <li>• 道路整備（歩道、電柱の地中化）</li> <li>• バス本数、路線が少ない</li> <li>• 気軽にスポーツができない</li> <li>• ビジネスエリアとしての魅力が乏しい</li> <li>• ブランド力が弱い</li> <li>• 市の魅力をアピールできていない</li> <li>• 将来都市像のPR</li> <li>• 地域活動に参加する割合が低下</li> <li>• 学校内の整備</li> <li>• 子ども達が遊べる場所が少ないので増やす</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 移住者の増加と維持</li> <li>• 企業誘致</li> <li>• 20年以上住んでいる者のケア</li> <li>• 5～10、10～20年未満の層を維持する取組</li> <li>• あまりに強すぎる「ムラ」社会を作らない</li> <li>• 道路整備の充実</li> <li>• 高齢者支援</li> <li>• 歩道の安全対策</li> </ul>	

- オフィスを増やす（コワーキングスペース等）
- 地域ブランディング
- 教育水準の向上

《グループ 10》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 幅広い世代が住みやすさを実感</li> <li>• 地域の協力性が高い</li> <li>• 親切な人が多い</li> <li>• 図書館が多い</li> <li>• スポーツイベントが充実している</li> <li>• 交通の利便性</li> <li>• 交通が便利</li> <li>• 人の移動が容易</li> <li>• 鉄道が充実</li> <li>• 自然が多い</li> <li>• 都市部と緑地帯のバランスの良さ</li> <li>• 都市と自然の両方が身近にある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 若い層の自治会の参加率が低い</li> <li>• お年寄りだけの世帯への見守り</li> <li>• 人を育てる（生涯を通して教育を受ける）分野の強化</li> <li>• 人が培ってきたものを大事にする</li> <li>• 大宮駅の車やバスなどのホームが渋滞しやすい</li> <li>• お土産さんや物産店、ビジネスホテルが少ない</li> <li>• 駅から離れるとお店が少ない</li> <li>• 広報・PR 不足</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• SNS で自治会などの意見交換をする</li> <li>• 自治会改善</li> <li>• 地域の中に集まれる場所を作る</li> <li>• 自治会の中でその地域に合ったものを考えてもらう</li> <li>• 歴史を大切にする</li> <li>• 地域の良さを育む</li> <li>• それぞれの地域の特性を活かす</li> <li>• 人を育てる（教育）の充実</li> <li>• 大きな施設に図書館だけでなく、郵便局など公的なものも一緒に</li> <li>• 2 都心 4 副都心構想の推進</li> <li>• アンテナショップの設置</li> <li>• 市としてのブランド力の発信</li> </ul>	

- さいたま市の名産物や特色をもっとアピール
- 高校生が小学生や中学生に勉強を教えたり、遊んだりする場を設ける

ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



## 10年以上居住者ワークショップ

### ① プログラム

時間進行	当日の流れ
9:30~9:55	開会、オリエンテーション
9:55~13:00	ワークショップ 2都心4副都心について ① 2都心4副都心の魅力や課題 ② 魅力や課題から、各拠点のまちづくりにおいて重視すべきテーマ・取組
13:00~13:45	発表
13:45~15:40	ワークショップ 今後重点的（優先的）に取り組むべきことについて ① さいたま市の魅力や課題 ② 今後10年で重点的（優先的）に取り組むべきこと
15:40~16:35	発表、閉会

### ② ワークショップのグループ分け

前半のワークショップでは、お住まいに近い2都心4副都心地域ごとに分かれ話し合いを行いました。なお、2都心4副都心とは、「大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区」、「浦和駅周辺地区」の2つの都心地区と「日進・宮原地区」、「武蔵浦和地区」、「美園地区」「岩槻駅周辺地区」の4つの副都心地区のことを表します。

後半のワークショップでは、お住まいの区等のバランスを考慮してグループ分けを行いました。



③ グループワークの結果（2都心4副都心について）

《日進・宮原地区①》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国道16号線・複数駅の存在による交通利便性</li> <li>• 商業の中心性</li> <li>• 低利用地の存在、開発の余地あり</li> <li>• 歴史遺産の存在</li> <li>• 恵まれた自然環境</li> <li>• 閑静な住宅環境</li> <li>• 保育所等、子どもの預かり施設が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 駅までのアクセス性の悪さ</li> <li>• 狭い道路・新幹線の高架下等の安全面の課題</li> <li>• 医療施設の少なさ</li> <li>• 魅力の中途半端さ、分かりにくさ</li> <li>• 住民同士の交流の少なさ</li> <li>• ごみ捨てルールが守られていない</li> <li>• 空家が目立つ</li> <li>• 町内会の高齢化</li> <li>• 防災（水害）・防犯体制に不安</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 都会の喧騒を忘れられるまち</li> <li>• 自然環境を残す</li> <li>• 道路交通網の整備</li> <li>• 地域の繋がり</li> <li>• 賑わいのある商店街</li> <li>• 子育てしやすいまち</li> <li>• 10区の特徴の打ち出し</li> </ul>	
<b>取組みアイデア</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新幹線高架下の開発、公共交通網の整備</li> <li>• 自転車の街（拠点にレンタサイクル整備）</li> <li>• 自転車・人専用の道路づくり</li> <li>• 地域活動の活性化</li> <li>• 電車の時間に合わせた市営バスの運行</li> <li>• 車がスピードを出せない道路づくり・街づくり</li> <li>• 人通りのしやすい商店街づくり</li> <li>• 公園や自然を残し、子どもが安全に楽しく遊べる場所を作っていく</li> <li>• 自分の家の前の道路に花を植える（月に1回日を決めて）</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校の建設 or 副都心周辺の学区見直し</li> </ul>
<b>キャッチフレーズ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ずっと住み続けたいと思える街</li> <li>・ きずなが強く自然とふれあえて住みやすい地区</li> <li>・ 自然よく移動しやすい誰もが住みやすい街</li> <li>・ ヌウを生かした高齢化活動</li> <li>・ 自然が身近であったか、安心！なまち作り</li> <li>・ 恵まれた自然環境の中で、人と人とのつながりを大切に生きる</li> <li>・ 周辺3駅を中心に利用してもらうために連携を取り図書館や公民館を用いて全世代でつながりを持ち、未来を作る子どもたちの成長を支援する</li> <li>・ 一体的な都市基盤の整備とあわせ、地域のつながりを重視した生活利便性の高い副都心</li> </ul>

《日進・宮原地区②》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通機関の充実</li> <li>・ ショッピングモールの充実</li> <li>・ 自転車圏内にいろいろな施設があり便利</li> <li>・ 日進駅宮原駅の開発が進む</li> <li>・ 鉄道博物館が近くにある</li> <li>・ 地域を代表するイベントがある</li> <li>・ 災害が少ない</li> <li>・ 適度に田舎、適度に緑があり住みやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通渋滞</li> <li>・ 道路が狭く一方通行で危険、ストレスを感じる</li> <li>・ 駐車場、公衆トイレが少ない</li> <li>・ 駅前の空きテナント</li> <li>・ 車がないと生活できない</li> <li>・ 商店街の活気が年々なくなっている</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都会の喧騒を忘れられるまち</li> <li>・ 自然環境を残す</li> <li>・ 花と緑のフラワーロード</li> <li>・ あらゆる世代が暮らしやすい落ち着きのある住宅地区</li> <li>・ 公園が多い住みやすい街</li> </ul>	

- 高齢者が安全で健康に暮らせること
- 子育て世代への支援、子どもが外で遊べる様に
- 自転車の乗り方を正しく
- 災害に強い街づくり
- 見えないところがすごい街！質実剛健な街

#### 取組みアイデア

- 新幹線高架下の開発
- 公共交通網の整備
- 自転車の街（拠点にレンタサイクル整備）
- 自転車・人専用の道路づくり
- 電車の時間に合わせた市営バスの運行
- 車がスピードを出せない道路づくり・街づくり
- 高齢者が都心に行きやすい交通（自転車道の整備）
- 地域活動の活性化

#### キャッチフレーズ

- にぎやかさとふるさとの融合した住みやすい文化地区
- 暮らしやすさ No.1 地区
- バランス良好地区
- ゆる都心（緩都心）地区
- コンビニエンス地区
- 便利で住みやすい生活環境の整った文化地区
- 商業施設と緑が融合しにぎやかさと落ちつきのある住宅地区
- 無事故、無災害の住み良い街
- 古い文化（盆栽）と緑に恵まれた新しい文化（鉄博）が息づく住みやすい街
- 生活するのに多くの魅力を持つ街
- 生活しやすい街

《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区①》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通の利便性（市外に出やすい、ベッドタウン）</li> <li>• 商業圏の近さ・便利さ（商業施設・飲食店の集約性・利便性）</li> <li>• 人の往来が多い</li> <li>• 職住近接</li> <li>• 氷川神社・大宮公園・スーパーアリーナ・盆栽・電車・独特な博物館などの観光資源</li> <li>• 水と緑に恵まれている</li> <li>• 平らで歩きやすい</li> <li>• 安全（山ない・海ない）</li> <li>• 学校・閑静な住宅地の存在など住環境の良さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市内東西公共交通網の不足、海外に出にくい、駅周辺の道路混雑、老朽化東口が開発途上</li> <li>• 長期滞在用の施設が少ない</li> <li>• 住民のための商店街がない</li> <li>• コミュニティ機会・スペースが少ない</li> <li>• 地域の魅力発信力の不足</li> <li>• 文学・芸術・文化啓発の場が少ない、スポーツ施設が少ない</li> <li>• 学校行事に活気がない</li> <li>• 治安の悪さ、交通安全性の低さ、防災拠点施設の収容力不足</li> <li>• 人口減少・高齢化</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通利便性（道路）の強化</li> <li>• 企業誘致、企業家育成</li> <li>• 立ち寄りから滞在へ</li> <li>• 防災機能の強化</li> <li>• 市民だけでなく周辺地域から、自己啓発・交流を求めて集まる施設・ソフトづくり</li> <li>• 大人が参加できるコミュニティ</li> <li>• 人と人との交流</li> <li>• 大宮駅を中心として都心機能を備えた統合開発</li> <li>• 「住みたい街」1位を目指す</li> <li>• 大宮の文化・スポーツ</li> <li>• 安心して暮らせる街</li> </ul>	
<b>取組みアイデア</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路を太く、環状道路の建設</li> </ul>	

- コミュニティバスの運行・増便
- 各種法人・企業・団体の誘致
- 創業支援、商業集積、サテライトオフィス
- 発信・アピール（NHK 朝ドラ活用）
- 予算増・外貨獲得
- イベントホール・ホテル増設
- ボランティア・趣味のサークルなど地域コミュニティづくり
- 市政ボランティア、市政アドバイザーの増員新設
- 大宮を愛せるような仕組みづくり
- 海外観光客対応、観光周遊ルートづくり
- 芸術・文化の同好会・研究会など啓発のチャンスづくりと支援
- 軸を中心に公園・店舗をまとめる
- フリースペースの創設、コミュニケーションをとれる居場所づくり

#### キャッチフレーズ

- 国際都市
- サテライトオフィスの街
- 働いて遊ぶ街
- 起業、創業支援の街
- 人と人が交わりスポーツ・健康先進地区を目指す大宮・新都心
- おもてなし大宮
- 2020年オリンピック開催に向けて、住んでいる人達はもとより海外から来られた方にも魅力ある町作りする
- 大宮の良い所をもっとアピールして地域社会「もてなす」心構えが必要になってくる
- 住みやすい「愛せる町」作り
- 訪れる人も働いている人も住んでいる人も発展していく国際都市
- 駅中心に大充実 みんなが訪ねたいずっと住みたいところ
- 訪れる人にも 働いている人にも 住んでいる人にも 優しい街 大宮・新都心
- 自分らしさが表現できるショッピング・スポーツ・芸術ができる
- 経済・文化教育・スポーツで市内外に発信アピールできる
- 誰もが自己啓発でき、お互いが交流でき楽しく生活できる

- ・ ★財政豊かな地区
- ・ みんなが集まり発展していく街

《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区②》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京に近い</li> <li>・ 交通の利便性</li> <li>・ 都心に出やすい</li> <li>・ 東北圏・北陸圏・北海道を連絡する首都圏対流拠点である</li> <li>・ 住みやすい</li> <li>・ 市街地が河川と緑地に挟まれた都市空間を形成している</li> <li>・ 治安が良い</li> <li>・ 公園が多い</li> <li>・ 災害が少ない、災害に強い</li> <li>・ 住民格差が少ない住みやすい街</li> <li>・ 他に類をみない盆栽村・氷川神社などがある</li> <li>・ 観光地以外のほとんどが揃う</li> <li>・ コンベンション・イベント誘致に必要な施設がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅東口のドラスティックな再開発</li> <li>・ JR 東武鉄道との話し合い・連携強化</li> <li>・ 防災関係へのイベント・防災訓練への積極的誘導</li> <li>・ 災害への意識が薄い</li> <li>・ 公立中学の部活動</li> <li>・ 自治会活動を活発化し、コミュニティの底上げを図る</li> <li>・ 高齢者の有効活用</li> <li>・ 市民行事等の積極的な PR、住民への通知</li> <li>・ 観光</li> <li>・ 「大宮といえば」というのが少ない</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地域の魅力を繋ぐ</li> </ul>	
<b>取組みアイデア</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスツアー</li> <li>・ サイクリングコース</li> <li>・ 道路の整備</li> <li>・ シンボル</li> </ul>	
<b>キャッチフレーズ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魅力をつなぎ発信する地区</li> </ul>	

《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区③》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育水準が高い</li> <li>• 勉強しやすい環境</li> <li>• 交通の便が良い</li> <li>• 商業施設・公共施設が充実しており賑わいがある</li> <li>• 買い物が楽しい</li> <li>• 氷川神社のお祭り</li> <li>• 大宮公園の桜、小動物園、ケヤキ広場等の憩いの場所</li> <li>• スーパーアリーナ等の集客施設におけるイベントが盛ん</li> <li>• 災害が少ない</li> <li>• 保育園が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大宮駅の混雑・駅周辺の渋滞</li> <li>• 繁華街の治安の悪さ</li> <li>• 観光客が少ない</li> <li>• 安全性と清潔感のあるまちづくり</li> <li>• 昔ながらの商店の衰退</li> <li>• イベントなど国際交流機会の創出</li> <li>• 気軽に利用できるスポーツ施設の少なさ</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 清潔できれいな街</li> <li>• 観光やビジネスに対するサービスの充実（宿泊施設等）</li> <li>• 交通環境の整備</li> <li>• 通過するだけでなく、滞在できるまち</li> <li>• 気軽に寄ることのできるまち</li> <li>• 訪問する目的のあるまちづくり</li> <li>• 歴史・文化の継続、維持</li> <li>• さらなる賑わい、観光資源づくり</li> <li>• 中央公園の整備</li> <li>• 動物を飼うマナー</li> <li>• 災害時の対応</li> </ul>	
<b>取組みアイデア</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• バスの本数を増やす</li> <li>• ホテルや商業施設の誘致</li> <li>• 狭い道でも安心して通れるように整備する</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアガイドの育成</li> <li>・ 歴史講座の周知</li> <li>・ 北与野駅や与野本町駅の再開発</li> <li>・ 住民同士の顔の見えるつながりをつくる</li> <li>・ 歴史・自然を市外の人へ周知する</li> <li>・ 誰でも参加できるフェスやイベントの企画</li> <li>・ SNS等を利用し、施設等の周知を行う</li> <li>・ 犬関税（罰金？）を徴収したら</li> <li>・ 交通ルール教室を開く</li> </ul>
<b>キャッチフレーズ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まだまだ伸びるよ 魅力のあるまち ちょこっと“行こっかな”中央区</li> <li>・ 住む人、来る人みんなが快適</li> <li>・ 浦和、大宮の奥座敷 便利で静か</li> <li>・ まだまだ伸びしろがあるぞ！！</li> <li>・ 人にやさしく、楽しくすごせる街</li> <li>・ 人が集まるにぎわいのある地区</li> </ul>

《浦和駅周辺地区①》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通の便が良い</li> <li>・ 商業施設が充実</li> <li>・ 買い物の利便性</li> <li>・ 名店、名産がある</li> <li>・ 自然が多い</li> <li>・ 調神社等の歴史</li> <li>・ 文教都市</li> <li>・ 食文化</li> <li>・ 街並みが美しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浦和駅までのアクセス改善</li> <li>・ 道路渋滞</li> <li>・ 個人商店の閉鎖</li> <li>・ 商店街の活性化</li> <li>・ まちとしての特色が薄れている</li> <li>・ 住民同士の交流</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て高齢者対策</li> <li>・ 賑わいのあるまちづくり</li> </ul>	



<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文教中心の街づくり</li> <li>• 持続可能なまちづくり</li> </ul>
<b>取組みアイデア</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治会の活用</li> <li>• シルバー人材の活用</li> <li>• 保育園とデイサービススペースの共同運営</li> <li>• 市の施設を使いやすく</li> <li>• 公共施設を使ったイベント</li> <li>• メディア媒体でのPR、情報発信の強化</li> <li>• 民間の活用</li> <li>• 学校施設、学生の活用</li> </ul>
<b>キャッチフレーズ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• “文化・伝統・教育・環境”を生かしたにぎわいのある地区</li> </ul> <p>～ ㊦なぎが美味  通勤が㊦く  ㊦くわくするまち ～</p>

《浦和駅周辺地区②》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 閑静な住空間</li> <li>• 駅に近く住みやすい</li> <li>• 調神社（お祭り等）</li> <li>• 文教地区として質の高い教育</li> <li>• 図書館、宇宙科学館等の施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主要機関を結ぶバスがない</li> <li>• 子どもたちの遊ぶ場所</li> <li>• スポーツの街だが、施設の開放性が悪い（利用できない）</li> <li>• 防災に不安</li> <li>• 避難所の案内が少ない</li> <li>• 新旧住民の交流</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文教都市の基盤強化</li> <li>• 世代を超えて心の健康を守るまち</li> <li>• 災害に強いまちづくり</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住みやすく働きやすいまち</li> <li>・ 市民の交流</li> <li>・ 余暇を楽しめる街</li> <li>・ 歴史とともに理解し大切にす町</li> <li>・ 子育てに魅力あるまち</li> <li>・ 市民、外部の人が浦和を好きになる</li> </ul>
<b>取組みアイデア</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラブ活動、NPO 活動支援</li> <li>・ スポーツ文化のアピール強化</li> <li>・ 朝市やフリーマーケット</li> <li>・ 学校の施設開放</li> </ul>
<b>キャッチフレーズ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古くからの歴史伝統を共有し、新しい文化・情報を発信する地区</li> </ul>

《武蔵浦和地区》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい都市のイメージ</li> <li>・ 活気がある</li> <li>・ 駅周辺の商業施設が充実</li> <li>・ 緑と歴史の存在</li> <li>・ 交通の便がよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色が少ない</li> <li>・ 大型店舗が多い</li> <li>・ 地元商店街がない</li> <li>・ 近所のコミュニティがない</li> <li>・ 線路下が暗い</li> <li>・ 公園が少ない</li> </ul>
<b>重視すべきテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な市民参加型イベント</li> <li>・ 市内のコンパクトシティのモデル</li> <li>・ 交通の便をよくする</li> <li>・ 清潔感のあるまち</li> <li>・ 公園、道路の整備</li> <li>・ 安全な街</li> <li>・ 防災</li> </ul>	

取組みアイデア
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人が集まる場をたくさん作る</li> <li>• 祭りなどのイベントを企画</li> <li>• 大きなショッピングセンター誘致</li> <li>• 保育園の増加</li> </ul>
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人々が交流する 緑ゆたかな 可能性</li> </ul>

《美園地区》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 豊かな自然</li> <li>• 新しい街としての可能性</li> <li>• 計画的な街づくりができる</li> <li>• サッカー施設の誘客</li> <li>• 新しい公共施設がある</li> <li>• 車のアクセスが良い（高速の入り口）</li> <li>• 若い家族が多い</li> <li>• 商業施設が充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然の喪失</li> <li>• 緑や文化財の活用</li> <li>• 学校が不足している</li> <li>• 子どもが遊べる場所が少ない</li> <li>• 公共交通機関が発展途上</li> <li>• 美園らしさの喪失</li> <li>• 災害時に機能するか</li> <li>• コミュニティの力</li> <li>• 働く場が少ない</li> </ul>
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然環境を守っていく</li> <li>• スポーツ、自然を通じ子どもたちの感性を磨く</li> <li>• ソフト面を生かした魅力づくり</li> <li>• 子育てによいまち</li> <li>• 若い世代の活用（情報発信力等）</li> <li>• 少子高齢化を生かした地域での子育て</li> <li>• 近未来と懐かしさが融和した都市</li> </ul>	
取組みアイデア	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 異文化コミュニケーションの場を増やす</li> <li>• 好きな美園スポットの募集</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会のバックアップ</li> <li>高齢の人もチャレンジする場づくり</li> </ul>
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>気軽に行けるスポーツ最前線地区</li> <li>次世代と自然の融和する地区</li> </ul>

《岩槻駅周辺地区》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史がある（名所、文化財）</li> <li>人形工芸</li> <li>緑が多い（公園含め）</li> <li>農業が盛ん</li> <li>市民参加の文化祭がある</li> <li>駅周辺の街づくり</li> <li>静かな住宅街</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化率が高い</li> <li>空き家が増えている</li> <li>近所のコミュニティが少ない</li> <li>公園が少ない</li> <li>地元商店が少ない</li> <li>特徴がない</li> <li>観光振興が不十分</li> <li>他地区へアクセスが悪い</li> </ul>
重視すべきテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口対策</li> <li>高齢化対策</li> <li>住みやすいまちづくり（交通、健康）</li> <li>子育てし易いまち</li> <li>地場産業の活性化</li> <li>駅周辺の商店街活性化</li> <li>若い人が住みやすい街づくり</li> <li>集客対策</li> <li>人形以外のアピール</li> </ul>	
取組みアイデア	
<ul style="list-style-type: none"> <li>人形作りの体験</li> <li>市民参加による観光資源のPR</li> <li>ボランティア活動を行った人に商店街で使えるポイント付与</li> <li>空き家、空きスペースを活用したイベント</li> </ul>	

キャッチフレーズ

- エッグ ∞ シルバー 老若男女を問わず住みやすく安全なまち

④ グループワークの結果（今後重点的（優先的）に取り組むべきことについて）

《グループ 1》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 政令指定都市である</li> <li>• 市民の幸福度が高い</li> <li>• バリアフリー・ユニバーサルデザインの導入</li> <li>• 交通機関の充実による都心・東京圏・東日本全体へのアクセス性の良さ・利便性</li> <li>• 各区ごとの特色</li> <li>• スポーツが盛ん</li> <li>• 公共施設（図書館・スポーツ施設等）の充実</li> <li>• 地場産で美味しい物がある</li> <li>• 子育て支援の充実（医療費が中3まで無料）</li> <li>• 歴史や文化の集積（中山道関連）</li> <li>• 未だ伸び続ける 130 万人口による資金力・購買力・人材力</li> <li>• 都市化が進む中でも緑化環境が良い</li> <li>• 地形が平ら、大きな災害が起きにくい</li> <li>• 資源別ごみ回収の普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市内間のアクセス（コミュニティバスによる交通ネットワークの従事充実）</li> <li>• 40～50 年代に建てられた公共施設の改修・更新に伴う費用</li> <li>• 若者に文化や芸術が浸透していない</li> <li>• 行政都市機能と商業都市機能の強力な融合</li> <li>• 街づくりへの民間活力の導入</li> <li>• 高齢者のサポートが少ない、高齢化による医療費増加</li> <li>• 自治会との連携、地域交流の強化</li> <li>• さいたま市（各区）の魅力づくり、魅力発信（グローバルレベル）、ブランド強化</li> <li>• 地場産のグルメ開催</li> <li>• 待機児童数が多い</li> <li>• 財政状況（扶助費の増大による支出増への対策、企業誘致による収入増を図る）、住民に対する説明</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人居住者の増加（町のルールが守られない）</li> </ul>
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスの改善</li> <li>公共施設の統合・廃止、民間委託（指定管理）の検討</li> <li>高齢者の健康維持・増進対策</li> <li>地域コミュニティの強化</li> <li>グローバルレベルでの魅力発掘・人材交流・姉妹都市・国際コンベンション</li> <li>さいたま市の魅力・アピールポイントの再定義</li> <li>プロジェクションマッピング・YouTube・SNS等を用いた集客・PR(主に若者向け)</li> <li>さいたま市の活動のPR・広報</li> <li>教育都市機能の強化による若者増加</li> <li>特色を活かしたグルメ開発</li> <li>空家の有効活用（民営保育園など）</li> <li>子育て支援の充実</li> <li>休耕田や農地の貸し出し（市民農園）</li> <li>外国人観光客・住居者に親切なまちに（多言語化）</li> <li>道路整備</li> </ul>	

## 《グループ2》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通の利便性が良い</li> <li>都内へ出やすい</li> <li>交通の便が良い</li> <li>東日本の交通の要衝</li> <li>東北と東京のハブ</li> <li>何でも手に入り、住んでいて便利な街</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南北の交通網に比べて東西の交通網が脆弱</li> <li>歩行分離ができていない（偏りがある）</li> <li>車に乗れない高齢者が中心街に行く手段（自転車道の整備等）</li> <li>中心地から離れた居住者の交通手段が少ない</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• インバウンドをひきつける観光資源（盆栽村、岩槻人形、鉄博）</li> <li>• 文化歴史の街（氷川の杜、調神社、人形の町）</li> <li>• スポーツイベントが盛ん</li> <li>• 自然（田園）と都市（住居）、緑が多い</li> <li>• 災害が少ない</li> <li>• 教育水準が高い</li> <li>• 教育熱心（将来の夢や目標を持っている若者が多い）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 昔からの商店街に活気を取り戻すための努力</li> <li>• インフラ投資に時間を要し、人口・文化がアンマッチング→コンパクトシティ</li> <li>• 次世代に継がせられる遺産（ハード・ソフト）を見出す、強化する</li> <li>• 地域の特徴が少ない（アピール不足？）</li> <li>• 観光 PR の方法、観光地が少ない？PR 不足？</li> <li>• イベントの知名度</li> <li>• 10 区が特色を出して、魅力あるもの（観光等）作り出してほしい</li> <li>• オリンピックに向けて（アリーナ以外に足を向けてもらうには）</li> <li>• 地域で住環境の格差</li> <li>• 公園に偏りがある（駅周辺が少ない）</li> <li>• 税収確保</li> <li>• 救急医療体制（2次、3次の整備）</li> <li>• 災害への意識が薄い（避難場所や備蓄等）</li> <li>• 地域交流・コミュニティ分野の改善</li> </ul>
--	--

**必要な取組み**

<ul style="list-style-type: none"> <li>• それぞれの地区をつなぐ交通整備（路線バス等）</li> <li>• コンパクトシティを念頭にした社会インフラの見直し・整備</li> <li>• 外国人を主なターゲットとした観光資源の活用・イベント開催・PR の強化</li> <li>• 公園の整備、待機児童対策等の子育て支援</li> <li>• 高齢者が活躍できる場の確保</li> </ul>
--

- ・ 防災拠点の強化、避難訓練

《グループ3》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新幹線や鉄道など交通網の発達による利便性</li> <li>・ 合同庁舎などの行政機能の集積</li> <li>・ 高層ビル群から田園風景までコンパクトに存在している</li> <li>・ 大規模商業施設の集積</li> <li>・ まちの個性が少ない</li> <li>・ 氷川神社など伝統的な神社・仏閣の存在</li> <li>・ 教育・文化・スポーツ活動が盛ん</li> <li>・ 自転車に乗る人が多い（自転車イベントがある）</li> <li>・ 観光資源に恵まれている（博物館・神社・人形・盆栽・公園・スポーツ施設）</li> <li>・ 国際的な交流が多い</li> <li>・ 人が多い割には治安が良い、災害が少ない</li> <li>・ 保育園が多い</li> <li>・ 図書館が多い</li> <li>・ 教育水準が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横の交通網が貧弱（バスの本数が少ない）</li> <li>・ 狭くて歩道のない道がたくさんある</li> <li>・ 街としての厚みがない</li> <li>・ 見沼たんぼの有効活用</li> <li>・ 各地域の中心地の開発と商店街の活性化</li> <li>・ 企業誘致</li> <li>・ 市の特色・象徴の少なさ、発信の不足</li> <li>・ 美術・芸術・音楽・文化・教養の充実</li> <li>・ 外国人の位置づけ（観光客 or 労働力）</li> <li>・ 自転車事故の多さ</li> <li>・ 少子化・高齢化社会への対応</li> <li>・ 公立小・中・高校の環境改善、部活動の取組</li> <li>・ 住民同士のコミュニケーションと交流促進</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内交通網の充実</li> <li>・ 自転車専用レーンの創設</li> <li>・ 北関東・東北・信越からの集客強化</li> </ul>	



- 企業誘致に向けた優遇策の検討（サテライトオフィス・生産拠点・流通網の創設など）
- 六次産業化の推進
- 市外への発信・集客に向け、市の象徴となるものを創る（サイクリングロードなど）
- 街の活性化に向けたイベント企画（スポーツ・祭り・若い世代の婚活イベントなど）
- SNS等を活用した情報発信（スポーツ・グルメなど）
- 大宮駅とさいたま新都心までの遊歩道の充実、街歩きの楽しみづくり
- 1泊2日など短期観光商品の開発
- 子育て支援、教育環境、学校施設の充実
- 住みよさの維持と多様化を受け入れる下地作り
- 自治会加入促進
- さいたま市10区全体に共通するつながりづくり
- 地域活動のモデル地区選定と指導

《グループ4》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 都心へのアクセス性が良い</li> <li>• 新幹線・鉄道などの交通利便性が良い</li> <li>• スポーツが盛ん</li> <li>• 国際的なイベントが多い</li> <li>• グルメが多い</li> <li>• 緑が多く、静かな住環境</li> <li>• 開発の余地あり</li> <li>• 文化・歴史が豊かな文教都市</li> <li>• 教育の質が高い</li> <li>• 商業施設の充実</li> <li>• 行政の専門性</li> <li>• 災害が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市内道路交通網の整備</li> <li>• 南北に比べて搭載の交通が不便</li> <li>• 都市部と郊外部の差が大きい</li> <li>• さいたま市としてアピールできるブランドが少ない</li> <li>• 宿泊先が少ない、海外からの受け入れ態勢が不十分</li> <li>• 市民参加型の活動強化（清掃活動・ボランティア）</li> <li>• 企業誘致（税収アップ政策として）</li> <li>• 施設での駐車スペースの少なさ</li> <li>• 人材を活かすネットワークづくり</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の所得格差が少ないのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>居場所づくり（子ども・ひきこもり・母親・高齢者）</li> <li>横の連携</li> <li>さいたま市 HP の改善</li> <li>災害に強い都市へ（自治会・空き地の利用）</li> <li>既存施設の活用が不十分</li> <li>人口増に対する子育て支援</li> <li>さいたま市独自の福祉施策</li> </ul>
---	---

必要な取組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交通網の充実（生活道路の整備、地下鉄の誘致、市内循環モノレール）</li> <li>国内・海外からの観光客誘致に向けた取組</li> <li>市民の憩いの場づくり</li> <li>文教都市として大学の誘致</li> <li>子どもや老人に対する食育</li> <li>心の教育、居場所づくり</li> <li>駅周辺部の避難対策の強化、大きな公園での災害訓練の取組</li> <li>福祉・子育て支援の充実</li> <li>人材教育の充実</li> <li>子育て支援を行政だけでなく住民同士で助け合える体制づくり</li> <li>地区を超えた協働・協調体制の構築</li> </ul>
---

《グループ 5》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>東京・各都市へのアクセスがよい、鉄道・道路の交通利便性</li> <li>東北圏・北陸圏・北海道を連絡する首都圏対流拠点</li> <li>都市と田舎が共存している</li> <li>フラットな地形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大宮駅西口の交通対策、周辺地区の道路整備</li> <li>自動車・自転車の線引き、自転車のマナー</li> <li>タクシーとバス・一般自動車の信頼関係</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 都心に近いが落ち着いている、自然も多い</li> <li>• 文化・スポーツのイベント多い (Jリーグ・ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム・さいたま国際マラソン・盆栽祭り etc)</li> <li>• 文化・コンベンション・イベント・スポーツ施設の充実(スーパーアリーナ・駒場・埼玉スタジアム・鉄道博物館)</li> <li>• 充実したショッピングセンターが多いので便利</li> <li>• 伝統文化・食文化が多い</li> <li>• 歴史や文化等の地域資源の活用</li> <li>• かかりつけ医が開催するイベント講座</li> <li>• 英語教育「グローバルスタディ」の導入</li> <li>• ごみの出し方が良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 財政改善のための市民負担の説明をし、納得してもらう</li> <li>• 区という枠が活かされていない</li> <li>• 大型商業施設など、人が多く集まる場所が中心部に集中している、都市と田舎の差、2都心4副都心へ集中しすぎ</li> <li>• 名産品・観光名所が知られていない(PR不足)</li> <li>• 市の施設の料金見直し</li> <li>• 子育て支援施設の拡大</li> <li>• 人口に対しての医療体制</li> <li>• 高齢者の有効活用及び健康促進</li> <li>• 地域コミュニティの活性化(自治会へ若い人の加入・地元の方々と埼玉都民の交流一体化)</li> <li>• 防災対策</li> <li>• 工業・農業の地元製品をもっとPRする「さいたま国際見本市」</li> <li>• 文化・スポーツ施設を市民レベルでいかに利用していくか</li> <li>• スマホ利用方法のきまり</li> </ul>
---	--

必要な取組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 健康促進のためのイベント開催</li> <li>• 保育所の増設及び保育士の養成</li> <li>• 高齢者の活用(子育て/介護事業、自治会活動等)</li> <li>• 企業オフィス、工場等の積極的誘致</li> <li>• 空家を活用した集会所の増設</li> <li>• 自転車ロードの整備・駐輪場の確保</li> <li>• 市内道路交通網の整備(自動車・自転車)</li> <li>• さいたま市の名産品・名所・工業製品・農産物のPR</li> <li>• 子育て・医療体制の整備、少子化対策</li> </ul>
--

- ジェネレーションギャップをなくしていく（市町内会活動の工夫・対策）
- 高齢化対策（介護設備の充実・健康対策）
- 外国人に日本のマナーを教える
- 地域道路の排水対策
- 防災施設の強化
- 埼玉での仕事づくり、地域での活動づくり

《グループ 6》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通網の発達</li> <li>• 緑が多い</li> <li>• 自然災害が少ない</li> <li>• 学ぶ環境が整っている</li> <li>• 商業施設が充実</li> <li>• 治安が良い</li> <li>• 家賃、駐車場代が安い</li> <li>• サッカーカラーの強さ</li> <li>• スーパーアリーナ、埼玉スタジアム</li> <li>• エリアごとにカラーがある</li> <li>• 歴史ある文化都市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路整備</li> <li>• コミュニティをとりにくい</li> <li>• 防災</li> <li>• 若い世代の都内への流出</li> <li>• 夢を持つ子どもの減少</li> <li>• 児童数の増加で一人当たり教育が手厚いとは言えない</li> <li>• 訪れたくなる町の価値が弱い</li> <li>• 街の開発コンセプトが弱い</li> <li>• 発信が足りない</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• バリアフリー化</li> <li>• 耐震対策</li> <li>• もっと市民を使う</li> <li>• 歴史、伝統文化等の特色を維持する</li> <li>• 町の魅力の見える化</li> <li>• SNS を利用</li> <li>• 市内に PR</li> </ul>	

《グループ 7》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 都心部と自然がバランスよく共存</li> <li>• 保育や子どもの医療、子育てに熱心</li> <li>• 東日本の玄関口である</li> <li>• 公共の交通機関が充実している</li> <li>• 図書館やスポーツ施設が充実</li> <li>• 商業施設が充実</li> <li>• 世界に発信できる文化がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 東日本の玄関口だが通過点でしかない</li> <li>• 鉄道、道路とも縦は整備されているが横の整備が不十分</li> <li>• 文化的な資産が対外的に知られていない</li> <li>• 連想できる「食」の名物がない</li> <li>• 若い世代が都心部に偏り傾向</li> <li>• 駅前の商業利便性に差がある</li> <li>• 自転車のマナー</li> <li>• 大災害への対策の周知</li> <li>• 高齢化に伴う環境整備</li> <li>• 世代間コミュニケーション</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 気軽に運動できる場所の整備</li> <li>• 都市化を抑え、緑や文化財を残す</li> <li>• 個人商店、商店街の活性化</li> <li>• 食文化をはぐくむ</li> <li>• さいたまの魅力の宣伝、広報活動</li> <li>• 地域、世代間のバリアフリー化</li> <li>• 道路整備（交差点、狭い道）</li> <li>• 市民一人一人が健康維持に努める環境づくり</li> <li>• 市民の「受信型」から「参加、協力型」への意識の変換</li> <li>• 保育士の処遇改善による人材確保</li> <li>• 自転車マナーの講習会を実施</li> </ul>	

《グループ 8》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他県への利便性</li> <li>• 南北に移動しやすい</li> <li>• 生活に便利</li> <li>• 飲食店が充実</li> <li>• 医療機関が充実</li> <li>• 教育レベルが高い</li> <li>• 伝統文化が多様</li> <li>• 自然、公園が多い</li> <li>• イベントが開催されている（コンサート、サッカー等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 東西が行きにくい</li> <li>• 地域格差（交通、インフラ、生活）</li> <li>• 独自性、自慢できるものがない</li> <li>• 国際化への対応</li> <li>• 高齢者人材の活用</li> <li>• 観光資源が少ない</li> <li>• 情報発信力が低い</li> </ul>
<b>必要な取り組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公共交通の充実</li> <li>• 企業誘致</li> <li>• 子育て支援</li> <li>• 高齢者人材の活用</li> <li>• 個性をいかす教育</li> <li>• 国際化への対応</li> <li>• 災害に強いまちづくり</li> <li>• 若者の情報発信力をいかす</li> <li>• 観光資源開発</li> <li>• ボランティア活動等の支援を行う</li> </ul>	

《グループ 9》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通便利性</li> <li>• 自然を身近に感じる</li> <li>• 教育に力を入れている</li> <li>• 歴史を感じるスポットが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 少子高齢化への対応</li> <li>• 施設が都心部に偏っている</li> <li>• 教育、商業の地域格差</li> <li>• 外国人との交流</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>国際イベントをできる施設がある</li> <li>商業施設の多さ</li> <li>区の施設がきれいで便利</li> <li>災害が少ない</li> <li>治安が良い</li> <li>スポーツが盛ん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災機能の充実</li> <li>公共施設の老朽化</li> <li>スポーツ施設が少ない</li> <li>自転車レーンの整備</li> <li>道路整備、区画整理</li> </ul>
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通インフラ整備</li> <li>広域行政と地区行政の役割の明確化</li> <li>地域での助け合いの場提供</li> <li>制度の啓蒙イベント</li> <li>さいたま市といえば、というようなものを作る</li> </ul>	

《グループ 10》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>文教都市がある</li> <li>歴史文化に深い</li> <li>スポーツ施設が充実</li> <li>スーパーアリーナによる集客</li> <li>大型ショッピングセンター</li> <li>物価が安く生活しやすい</li> <li>公共施設の整備が進んでいる</li> <li>子育て世代の住環境として人気</li> <li>都心に近い</li> <li>交通の便がよい（信州、東北、北陸）</li> <li>緑と都市が近い</li> <li>自然が残されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツが盛んな割に環境が少ない</li> <li>名産品が無い</li> <li>都市のイメージがない</li> <li>地産地消が減少している</li> <li>高齢化</li> <li>東西の交通アクセス</li> <li>市内の移動が難しい</li> <li>市の良さを広める力がない</li> </ul>
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性、観光地の PR</li> <li>歴史、街並みの整備</li> </ul>	

- 新名物、新名所づくり
- 健康への取組み
- 地域社会のコミュニケーション
- 安心な子育て環境の提供
- ICT の利用
- 道路の整備



ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました

